

明治五年二月九日

宇田川準一試業(化学、理学)

東京大学図書

洋学文庫  
文庫8  
C 109  
3

紙



昭和  
年  
月  
日

早稲田大学図書館

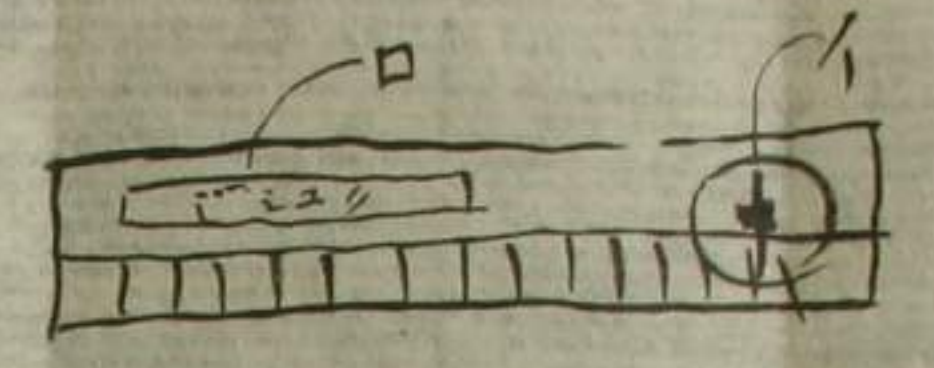
東京都新宿区戸塚町一丁目六四七番地  
電話東京041代表二一四一・四一四一番

丸毛片寄及じ傾キ共ニ北光雷火ノ破裂等ニ開シテ差異アルナリ

同才三各

磁氣ノ働キ其隔リノ自乘ニテ減スルヲ知ルニ上圖ノ如キ四各ヲ用ヒ計シハ知ルべし例ハ四寸一才ノ隔リニ置ケハ針ニ位ヨリ九度動キ二寸ノ隔リニテハ三度動クカ也

四寸五分



同才四各

五寸五分

之ヲ試ルニハ積極電氣ヲ与ヘ置キ然ル后々試ムキ作ラ近ツクト知ルべし乃チハ近クハ其電氣ハ消極スルヲ

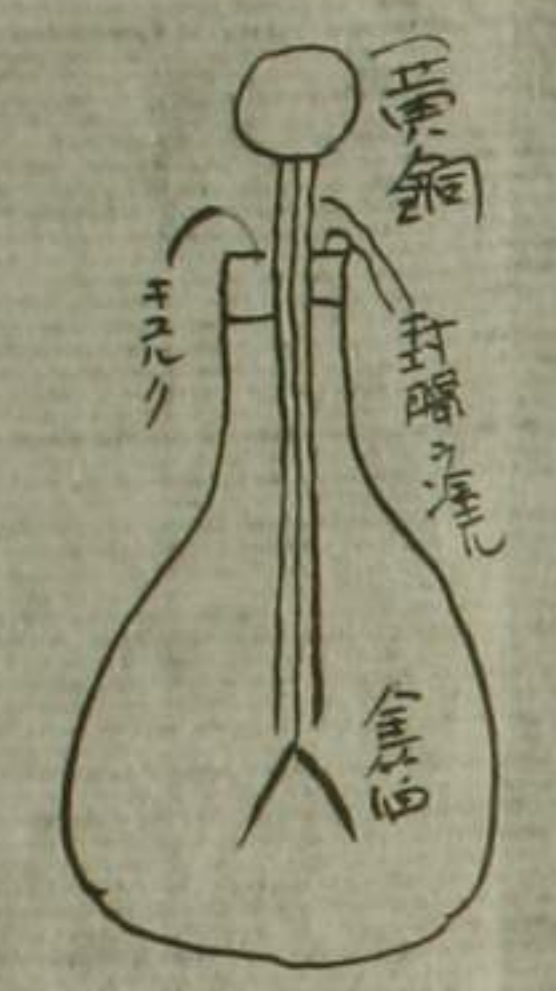


知り突キ高マハ積極スルヲ知んハ如クスニ電氣ノ有無及ヒ消極ノ兩極ヲモ相別ツべし若シ其電氣少量ノ中ハ次ノ正キトスニテ知んべし

同才五各

四寸

此器ヲ作ルニ先ツ玻璃ヲ取り之ニ細キ玻璃管（此管ノ上部ヨリ下部迄糸金通リ上部ニ竹筒ヲ附ケ置クナリ）ニテキリモシサレタルヲ施シ然ル后々打込及ヒ玻璃管ノ一部外氣ニ觸ルニ及ヒ封蠟ヲ塗ルナリ但し濕氣ヲ防クガナリ同ノ如シ



此器ハ電氣ノ起ルニ極テ少クテ他ノ手便ニテ其有無ヲ知ル能ハル所ノモノヲ試スニ用ル器ナリ但シ試作シ黃銅ノ球ニ近ツクレハ知んべし

明治五年申

二月九日

58  
75  
50  
45  
55  
40  
315

宇田川準一

再拜

三才五分

化学才一答

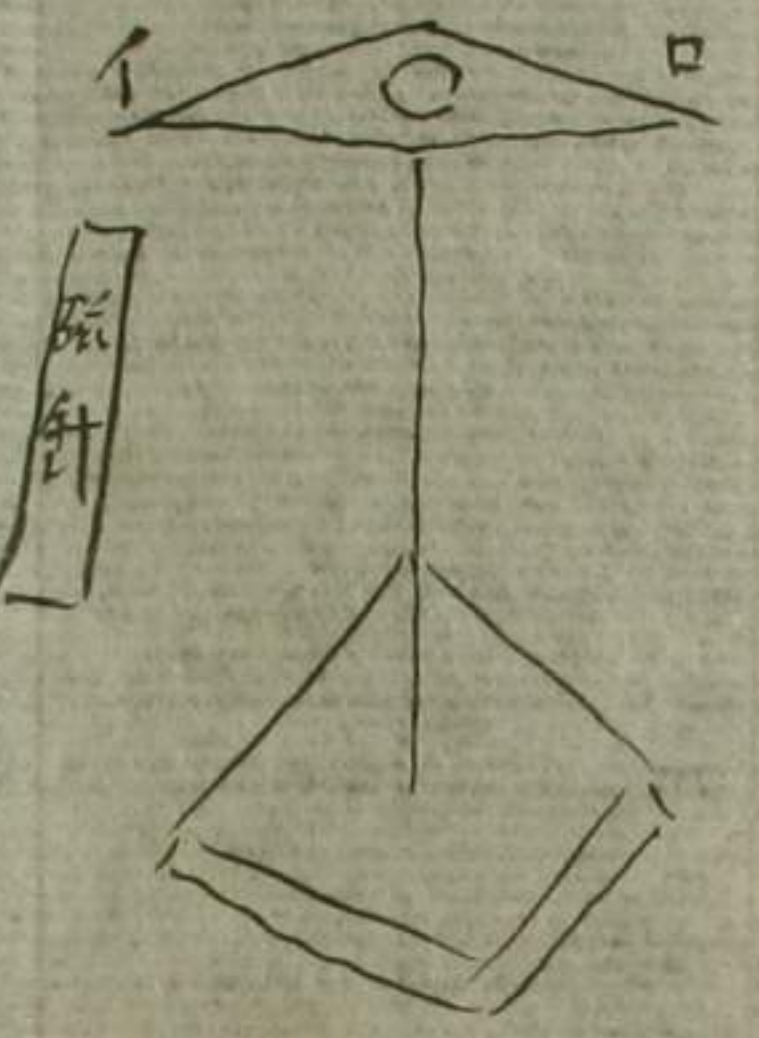
硫化鉛より鉛を創るは六カカリニテラ及射毫ニテ燒ケル硫黄ノ一分燃ヘテ亜  
硫酸ト成リ一分硫酸鉛ト成リテ酸化鉛ヲ残ス併し分解セス硫化物ノ依  
ニテ鉄ハモノアリ此物ヲ及射毫或ハ他毫ニテ大氣ヲ強ク吹キ入レテ再ヒ燒ケ  
ハ遂ニ純物ヲ得一し

五寸

理学才一答

磁氣ニ極ノ働キ互ニ異ナルヲ知ルハ先ツツノ鉄針ニ磁氣ヲ与ヘ之ニテ  
水平ニ釣リ置キ又他針ニ別ニ磁氣ヲ与ヘ之ニテ前ノ磁針ニ近ツクハ  
知んべし乃チコレニ近ツクハ引キコレニ近ツクハ突キ高ス之ニ磁針ニ兩極  
アリテ同名相突キ異名相引クノ性ナリ

七寸五分



同才二答

五寸

磁針ヲ空中ニ釣ルス中ハ其針ニ片寄或ハ傾キ等ノ差異アリ之ニ地球ノ  
磁石ノ南極ハ北ニ在リ北極ハ南ニ在ルニ由テ起ルナリ而シテ其距高遠  
大ナル故其力大概平均セリ地球中何々ニテ試スニ磁針ノ片寄ニ由テ  
子午線ト角度ヲ為スノ權マアリ而シテ其ノ同角ヲ為ス所ノ地方ヲ取リ  
卷ケルハツノ環線ヲ為ス之ニテアイソゴミアイソト云フ又傾キモ同シノ知々  
ニテ異ナルナリ例ニ至ルニ針鉛直線ヲ為ス赤道ニ近ツクニ墮テ水  
平ニ復ス乃チ其同シ傾キノ如ク緯線ヲ設ク之ニテアイソメト云フ

物理学才一題

「マクニツト」二極ノ働キ互ニ異スルハ如何ニシテ示サル可キヤ

同 才二題

「マクニツト」ヲ空中ニ釣ルスキハ地球ノ磁氣之ニ感シテ如何ニ働キ為スヤ ○ 何シカアイズコニシテ何シカアイズジナニクライント云フヤ

但シ甲ハ同ニ角度ノ線ニハ同シカノ線ノ義ナリ

同 才三題

磁氣ノ働キハ其隔リノ自棄ニ割合ニテ減スルヲ如何ニシテ證據立ツヘキヤ

同 才四題

作リ電氣ノ有無並ニ其積極性或ハ消極性ナルハ如何ニシテ試ムベキヤ

同 才五題

金竹泊「エキトロスコヤ」ノ製造並ニ用法ヲ詳説セヨ

右五題

化学第一題

硫化鉛ヨリ鉛ヲ製造スル法如何

同 才二題

銀鑛及ヒ其元モ要用ルル化合物ノ性質ヲ詳説セヨ

同 才三題

通常銀ヲ精製スルハ如何ル法ヲ以テスルヤ

同 才四題

銀及ヒ銅ヲ含ム所ノ合金ヨリ如何ニシテ精純ノ黄金ヲ得ルヤ

同 才五題

安山、珪、亜白金化合物ノ一般ノ組立ハ如何

右五題